CG-WLCB54AGM

詳細設定ガイド

Y613-09379-02 Rev.A

はじめに

このたびは、「CG-WLCB54AGM」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせいたします。

http://corega.jp/

付属マニュアルのご紹介

本商品には、次のマニュアルが付属しています。各マニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

●安全にお使いいただくためにお読みください（付属：紙マニュアル）

安全にお使いいただくためのご注意を説明しています。本商品をお使いになる前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。

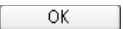
●らくらく導入ガイド（付属：紙マニュアル）

本商品の付属品、各部の名称と機能、専用ソフトウェアの読み込み手順について説明しています。本商品の導入時にご覧ください。

●Q&A（付属：冊子マニュアル）

本商品のトラブルシューティング、よくあるご質問、サポートに関する情報について説明しています。必要に応じてご覧ください。

●詳細設定ガイド（ユーティリティディスク収録：PDFマニュアル・本書）

セキュリティ設定など、本商品の詳細な機能説明や設定方法などを説明しています。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

本商品	CG-WLCB54AGMを指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]

●正式名称について

本書で使用しているソフトウェア名の正式名称は以下のとおりです。

〈Windows〉

Windows®……Microsoft® Windows® operating system

Windows® XP……Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system

Windows® 2000……Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

Windows® Me……Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system

Windows® 98SE……Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目　次

PART 1

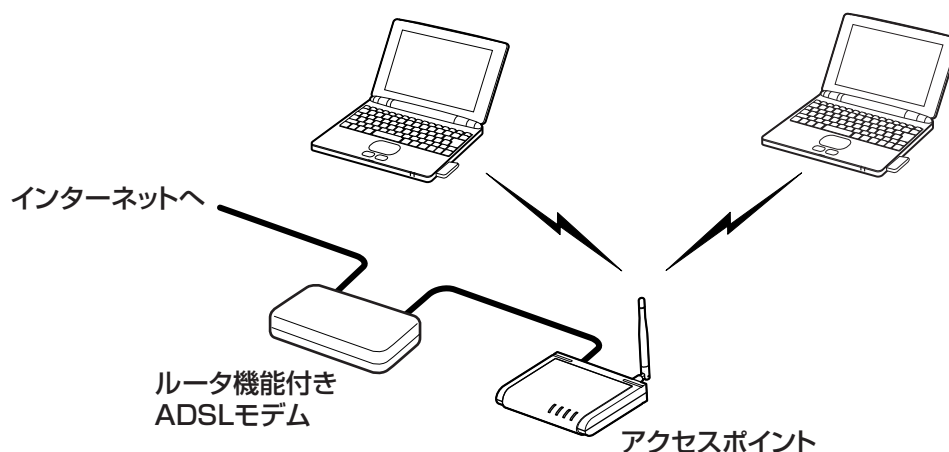
本商品の使い方について

接続方法を決めよう

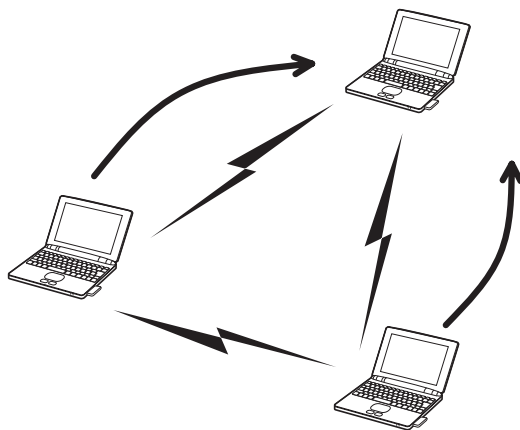
本商品は、IEEE802.11a、g、b規格に対応した無線LAN（ワイヤレス）通信アダプタです。IEEE802.11a、g、b規格に対応した無線ルータや無線アクセスポイントと組み合わせることで、無線ネットワークを構築することができます。また、本商品は同じ規格の無線アダプタとの通信も可能ですので、次に紹介する例を参考にして、本商品とパソコンの接続方法を決めてください。

本商品は、各社の無線LAN機器との間で相互接続性を確保していますが、個別製品の接続可否については、お使いの機器の製造・販売元にお問い合わせください。

■アクセスポイントを使ってインターネットに接続する～Infrastructure

「インターネット接続を複数台のパソコンで共有したい」、「ケーブルなしでインターネットに接続したい」といった場合には、次の図のようにアクセスポイントを使ってインターネット接続します。この際、無線LAN機器のモードは「Infrastructure」モードに設定します。また、既にケーブルを使ってネットワークが構築されている環境に、無線LANを追加するときなどもこのモードにします。本商品の工場出荷時の設定は、「Infrastructure」モードに設定されております。

アクセスポイントは別途ご購入いただく必要があります。

■パソコン同士でファイルのやりとりをするだけなら～Ad-Hoc

「離れた場所にあるパソコン同士でファイル交換ができればいい」という場合には、アクセスポイントは不要となり、無線LANアダプタを搭載したパソコン同士で直接通信をします。この際、無線LAN機器のモードは「Ad-Hocモード」に設定します。設定方法については、「PART2 無線LANの設定をしよう」の「Ad-Hocモードで使うときは…」（P.14）をご覧ください。

■無線LANのセキュリティ対策について

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことを防ぐため、本商品は次のようなセキュリティ機能を用意しています。セキュリティの設定を行う場合は、「PART2 無線LANの設定をしよう」の「セキュリティの設定をしよう」（P.18）をご覧ください。

・通信グループ化をする
　ESSIDを設定する

・通信内容を暗号化する
　WEP（暗号キー）を設定する
　WPAまたはWPA2（高度な暗号キー）を設定する

・通信グループ化し、通信内容を暗号化する
　JUMPSTARTを使う

無線セキュリティは接続する機器全てが同じ規格に対応し、同じ設定を行う必要があります。

本商品を使わないときは

■本商品をパソコンから取り外す

本商品をパソコンから取り外す場合は、次の手順で取り外してください。本商品を正しい手順で取り外さない場合、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

・本商品を取り外す前に、ご使用のパソコンがネットワークに接続していないこと、また、他のパソコンからアクセスされていないことを確認してください。

・次にご紹介する操作を行うと、実際に本商品を取り外さなくてもデバイスの使用を停止したとみなされ、本商品は使用できなくなります。再度使用するときは、一度本商品を取り外してから再び取り付けてください。

1 画面右下のタスクトレイ（通知領域）上のを押し、「CG-WLCB54AGMを安全に取り外します」を押します（ご使用のOSにより、下線部の表示は、中止や停止するという意味の内容になります）。

2 安全に取り外せる旨のメッセージが表示されたら、［OK］を押します。

3 本商品をPCカードスロットから取り外します。

以上で取り外しの手順は終了です。再度使用する場合は、PCカードスロットに取り付けると使用できます。

■ソフトウェアを削除するには

本商品用のソフトウェアをパソコンから削除する方法を説明します。

●本商品のユーティリティとドライバを削除する場合

1 「本商品をパソコンから取り外す」の手順に従って、パソコンから本商品を取り外します。

2 「スタート」－「すべてのプログラム」－「コレガ無線LANユーティリティ」－「CG-WLCB54AGM無線LANモニタの削除」（Windows 2000/Me/98SEでは「スタート」－「プログラム」－「コレガ無線LANユーティリティ」－「CG-WLCB54AGM 無線LANモニタの削除」）の順に選択します。

3 「ファイルの削除の確認」が表示されます。

4 ［OK］を押します。

5 ユーティリティとドライバの削除が行われ、しばらくすると「InstallShield Wizardの完了」が表示されます。

6 ［完了］を押します。

以上でユーティリティとドライバの削除は終了です。

PART 2

無線LANの設定をしよう

ネットワークの設定をする

無線LANでデータをやりとりしたり、インターネットに接続したりするには、ネットワークの設定が必要になります。

■インターネットに接続するとき

本商品を取り付けたパソコンからインターネットに接続するには、TCP/IPの設定が必要です。次の手順で設定を確認してください。

● Windows XPの場合

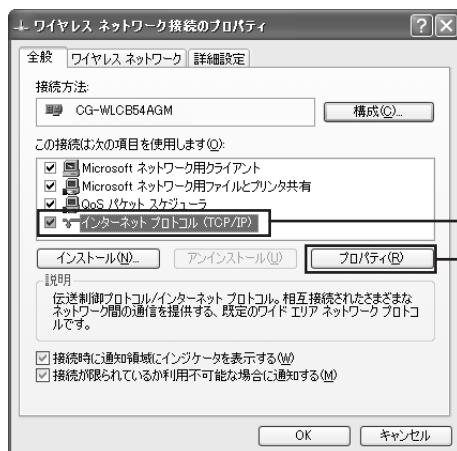
設定を変更するには「コンピュータの管理者」または同等の権限をもつユーザ名でログオンしてください。

1 「スタート」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3 「ネットワーク接続」をクリックします。

メモ **「ネットワーク接続」が表示されていない場合は、画面左側の「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。**

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

5 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、［プロパティ］を押します。

6 「全般」タブを押し、次のように設定します。

① DHCPサーバ機能を持ったルータなどを使ってインターネットに接続する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

② DHCPサーバ機能を使用しない場合や、特定のIPアドレスを割り当てる必要がある場合は、「次のIPアドレスを使う」を選択して、使用するIPアドレスとサブネットマスクを入力してください。

メモ **お使いの環境によっては、この他にもネットワークの設定をする必要があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。**

7 ［OK］を押します。

8 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の［OK］を押します。

以上でTCP/IPの設定は終了です。本商品と接続するネットワーク機器の設定につきましては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

● Windows 2000の場合

注意 **設定を変更するには「Administrator」またはAdministratorsグループのユーザ名でログオンしてください。**

1 「スタート」－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に選択します。

2 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

メモ **「ローカルエリア接続」の名称はご使用のパソコンの環境によって異なる場合があります。**

3 「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選択し、［プロパティ］を押します。

4 「全般」タブを押し、次のように設定します。

① DHCPサーバ機能を持ったルータなどを使ってインターネットに接続する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

② DHCPサーバ機能を使用しない場合や、特定のIPアドレスを割り当てる必要がある場合は、「次のIPアドレスを使う」を選択して、使用するIPアドレスとサブネットマスクを入力してください。

メモ **お使いの環境によっては、この他にもネットワークの設定をする必要があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。**

5 ［OK］を押します。

6 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面の［OK］を押します。

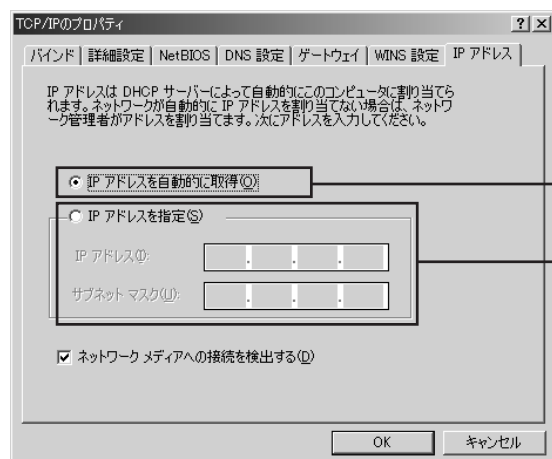
● Windows Me/98SE の場合

ここでは例としてWindows Meの画面を使用しています。Windows 98SEをご使用の場合も手順は同様です。

1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」の順に選択します。

2 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3 「現在のネットワークコンポーネント」の一覧から「TCP/IP－＞CG-WLCB54AGM」を選択し、［プロパティ］を押します。

4 「IP アドレス」タブを選択し、次のように設定をします。

① DHCPサーバ機能を持ったルータなどを使ってインターネットに接続する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。通常はこちらを選択します。

② DHCPサーバ機能を使用しない場合や、特定のIPアドレスを割り当てる必要がある場合は、「次のIPアドレスを使う」を選択して、使用するIPアドレスとサブネットマスクを入力してください。

お使いの環境によっては、この他にもネットワークの設定をする必要があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 ［OK］を押します。

6 「ネットワーク」画面の［OK］を押します。

以上でTCP/IPの設定は終了です。本商品と接続するネットワーク機器の設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

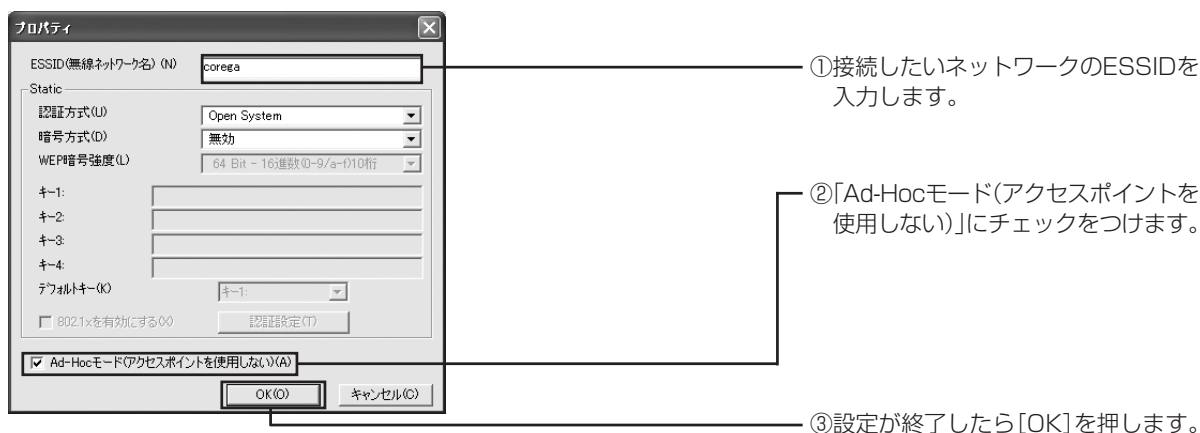
「Ad-Hocモード」で使うときは…

■「Ad-Hocモード」を利用したネットワークに接続する

1 画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。

2 ユーティリティが起動すると、通信可能なESSID（ネットワーク）が自動的に表示されます。

3 「優先するアクセスポイント」の欄に表示されたESSIDを選択し、［プロパティ］を押します。
新規で「Ad-Hoc モード」を利用したネットワークを構築する場合は、［追加］を押します。

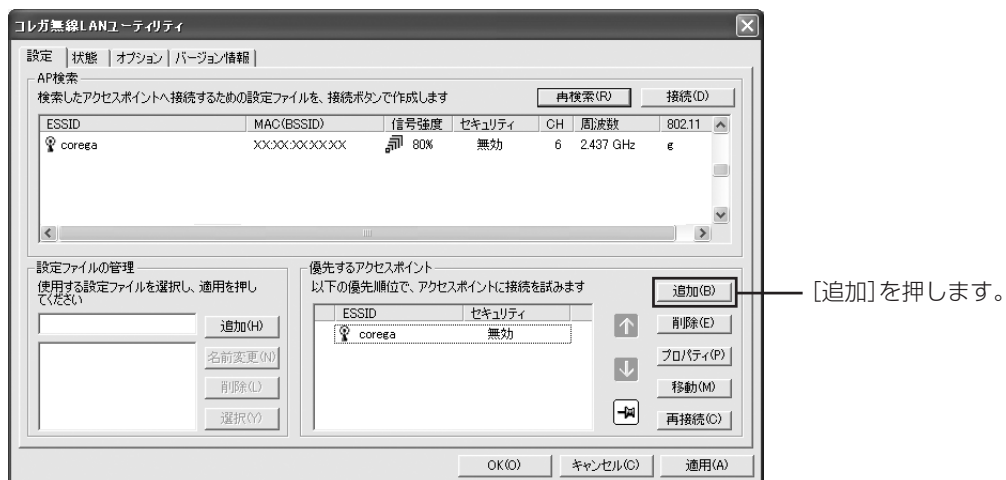
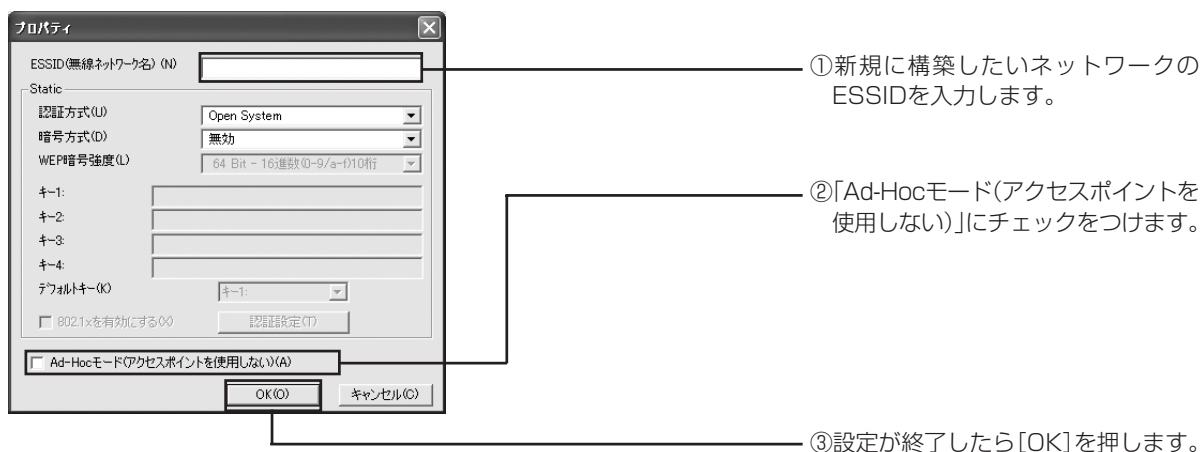
4 「ESSID（無線ネットワーク名）」に接続したいネットワークのESSIDを入力し、「Ad-Hocモード（アクセスポイントを使用しない）」にチェックをつけて［OK］を押します。

5 接続する「Ad-Hoc モード」のネットワークを「優先するアクセスポイント」の一覧から選択し、を押して、接続するアクセスポイントを固定します。

6 画面右下の［適用］を押して設定を反映します。

以上で「Ad-Hoc モード」を利用したネットワークへの接続は終了です。

■新規で「Ad-Hocモード」のネットワークを構築する

1 画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。

2 通信可能な ESSID（ネットワーク）が表示されますので、［追加］を押します。

3 構築する「Ad-Hoc モード」のESSIDを入力し、「Ad-Hoc モード（アクセスポイントを使用しない）」にチェックをつけて［OK］を押します。

4 手順 2 の画面右下の［適用］を押して設定を反映します。

以上で「Ad-Hoc モード」のネットワークの構築が完了しました。セキュリティを設定する場合は、「セキュリティの設定をしよう」（P.18）をご覧ください。

無線LANのセキュリティについて

無線LANではデータの通信に電波を利用しているため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入される恐れがあります。本商品ではこれらの対策として、次のようなセキュリティ機能を搭載しています。

■本商品で設定できるセキュリティ機能

●ESSID（Extended Service Set IDentifier）

無線LANに接続する機器を識別するネットワークグループ名です。SSIDと呼ばれることもあります。同じESSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、独自のESSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。設定方法については、「ESSIDを設定する」（P.18）をご覧ください。

●WEP（Wired Equivalent Privacy）

通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能です。仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。64Bit、128Bitの2種類から任意で暗号キーを作成します。設定方法については、「WEPを設定する」（P.19）をご覧ください。

●WPA（Wi-Fi Protected Access）

通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化するセキュリティ機能の一つです。暗号キーは一定時間ごとに変わるTKIPを採用しており、WEPよりも解読されにくくなります。家庭でご利用できる「WPA-PSK（パーソナル）」と企業内でご利用できる「WPA-EAP（エンタープライズ）」の2種類の設定ができます。設定方法については、「WPA2/WPAを設定する」（P.20）をご覧ください。

●WPA2（Wi-Fi Protected Access2）

WPA2は、Wi-Fi Allianceが2004年9月に発表したWPAの新しい規格です。米標準技術局（NICT）が定めた暗号化標準の「AES」を採用しており、128～256Bitの可変調キーを利用して強力な暗号化が可能です。その他の仕様についてはWPAとほとんど変わらないので、WPAとWPA2の混在した環境で利用できます。設定方法については、「WPA2/WPAを設定する」(P.20）をご覧ください。

●802.1x認証

無線ネットワークを確立する際に、認証サービスを受けるセキュリティ設定です。正しい認証キーでアクセスすると認証サーバが正規のユーザであることを承認し、通信が可能になります。企業内のネットワークで利用されます。設定方法については、「RADIUSサーバを使う場合」（P.22）をご覧ください。

●JUMPSTART™ for Wireless

米国Atheros社が提供する無線LANセキュリティ設定技術です。無線LAN機器間の通信にワンステップで、無線グループ化と無線暗号化の設定を行うことができます。有効時には、Diffie-Hellmanプロトコルを利用して自動で暗号キーを作成し、その後接続する機器が対応するセキュリティ機能（WPA、WPA2）から高度かつ共通の設定を自動で行います。設定方法については、付属の「らくらく導入ガイド」や弊社ホームページをご覧ください。

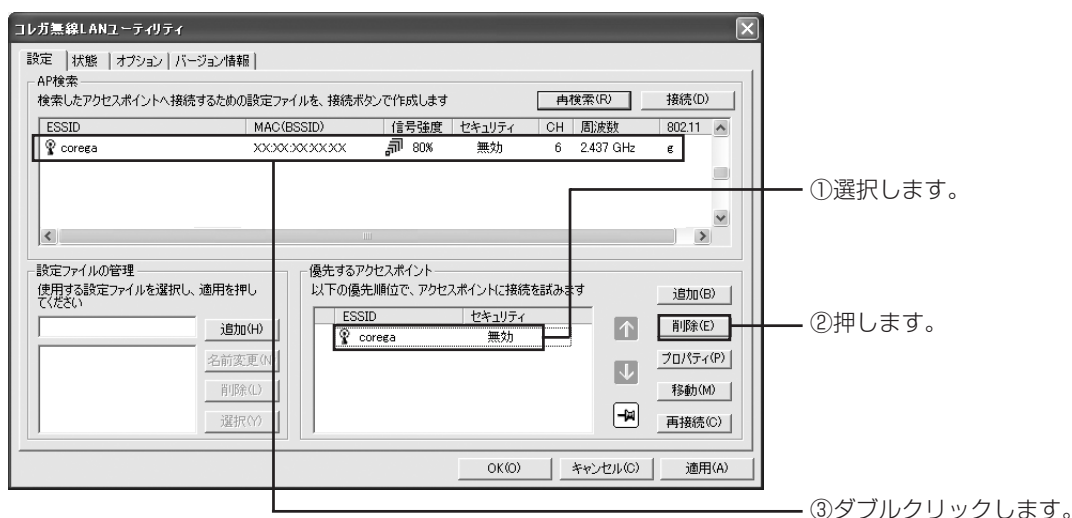
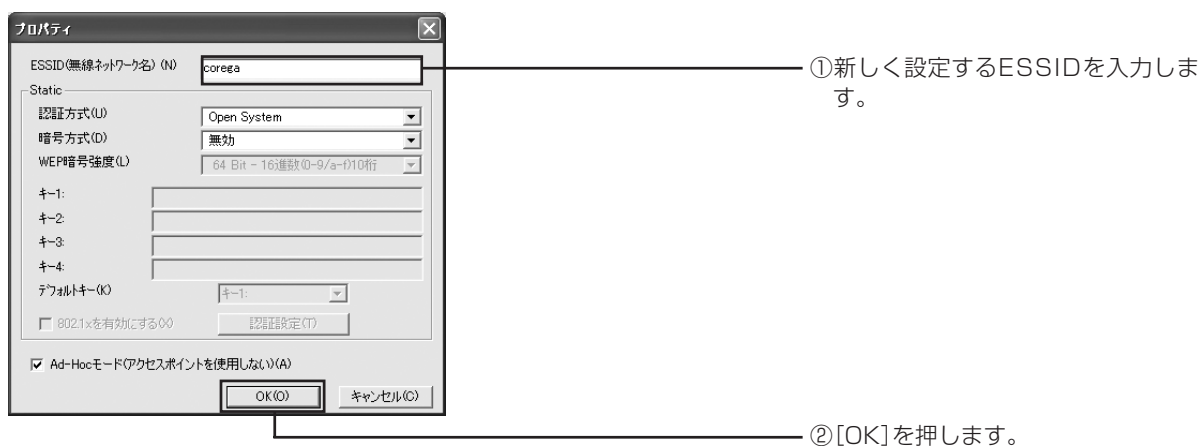
セキュリティ設定は、通信相手の機器に合わせて同じ内容の設定を行ってください。

セキュリティの設定をしよう

■ESSIDを設定する

画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。ユーティリティが起動すると、通信可能なESSID（ネットワーク）が自動的に表示されます。

注意　アクセスポイントにESSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合は ESSID が空欄で表示されます。

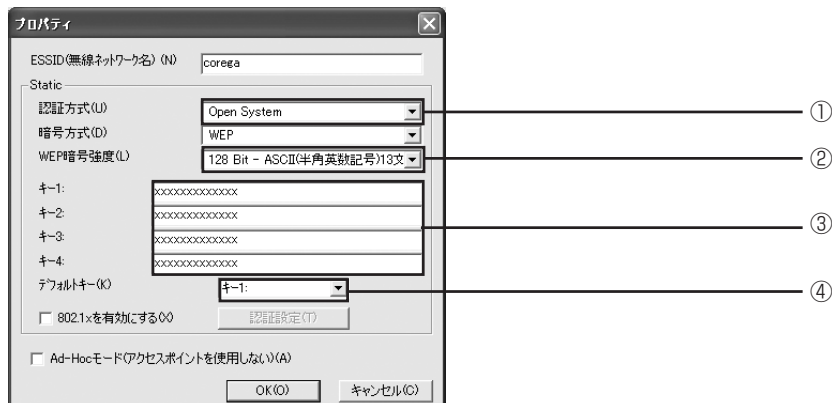
1　「優先するアクセスポイント」の「corega」を選択し、［削除］を押してから、接続したいESSID（ネットワーク）をダブルクリックします。

2　「プロパティ」画面が表示されますので、新しく設定するESSIDの値を入力し、［OK］を押します。

3　手順1の画面に戻りますので、［適用］を押して設定を反映します。

■WEPを設定する

画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。ユーティリティが起動すると、通信可能なESSID（ネットワーク）が自動的に表示されます。

アクセスポイントにESSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合はESSIDが空欄で表示されます。

1 設定したいESSID（ネットワーク）をダブルクリックします。

2 「プロパティ」画面が表示されますので、WEPの設定をします。

① 「Open System」または「Shared Key」を選択します。

② 「64Bit」または「128Bit」を選択します。

③ 暗号キーを直接入力します。入力すると「*」の表示に変わります。
・64Bit － ASCII（半角英数字記号）5文字まで
・128Bit － ASCII（半角英数字記号）13文字まで
・64Bit － 16進数（0～9／a～f）10桁まで
・128Bit － 16進数（0～9／a～f）26桁まで

④ 使いたい暗号キーを「キー1」～「キー4」の中から選択します。

上記の②で「128Bit」を選択した場合、③で入力できるキーは「キー1」のみとなります。

3 「プロパティ」画面の［OK］を押します。

4 「コレガ無線LANユーティリティ」の「設定」画面に戻りますので、［適用］を押して設定を反映します。

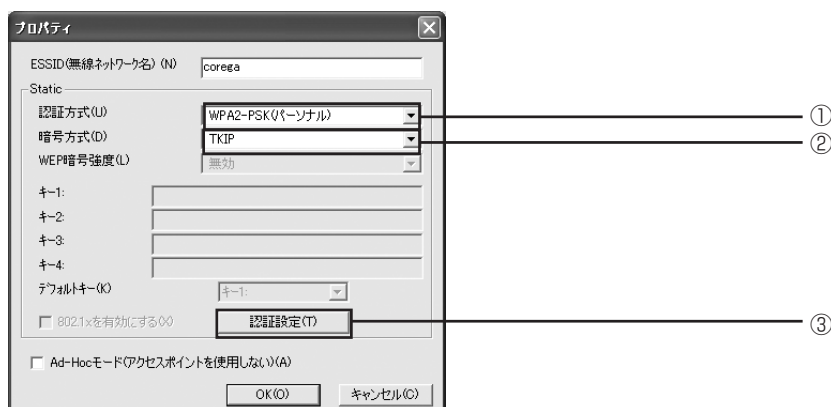
■WPA2/WPAを設定する

● WPA2-PSK または WPA-PSK を使う場合

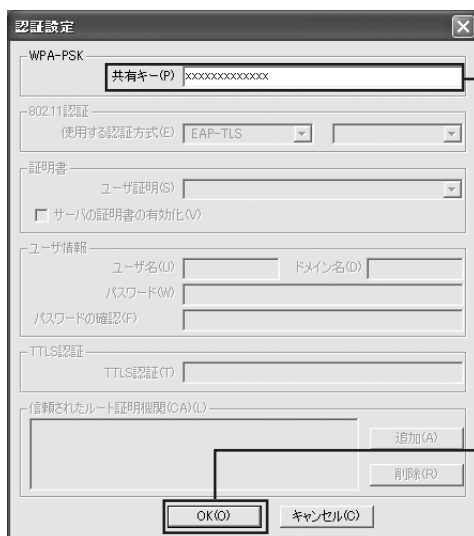
画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。ユーティリティが起動すると、通信可能な ESSID（ネットワーク）が自動的に表示されます。

アクセスポイントに ESSID を検索されないような機能（ステルス AP など）が有効になっている場合は ESSID が空欄で表示されます。

1 設定したい ESSID（ネットワーク）をダブルクリックします。

2 「プロパティ」画面が表示されますので、次のように設定をします。

① 認証方式で「WPA2-PSK（パーソナル）」または「WPA-PSK（パーソナル）」を選択します。

② 暗号方式で「TKIP」（WPA 時のみ選択できます）または「AES」を選択します。

③ [認証設定] を押すと次の画面が表示されますので、任意の共有キーを入力して [OK] を押します。

3 「プロパティ」画面の［OK］を押します。

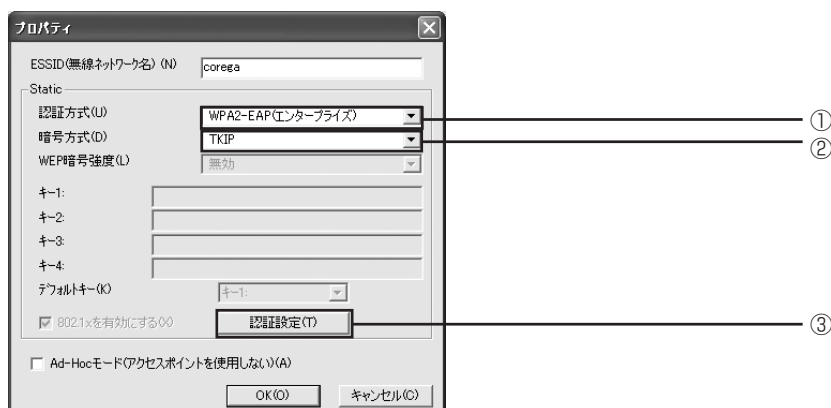
4 「コレガ無線LANユーティリティ」の「設定」画面に戻りますので、［適用］を押して設定を反映します。

● WPA2-EAP または WPA-EAP を使う場合

画面右下の をダブルクリックし、本商品のユーティリティを起動します。ユーティリティが起動すると、通信可能な ESSID（ネットワーク）が自動的に表示されます。

> 注意　アクセスポイントにESSIDを検索されないような機能（ステルスAPなど）が有効になっている場合は ESSID が空欄で表示されます。

1 設定したい ESSID の値をダブルクリックします。

2 「プロパティ」画面が表示されますので、次のように設定をします。

① 認証方式で「WPA2-EAP（エンタープライズ)」または「WPA-EAP（エンタープライズ)」を選択します。

② 暗号方式で「TKIP」（WPA 時のみ選択できます）または「AES」を選択します。

③ ［認証設定］をクリックします。設定方法は、「RADIUS サーバを使う場合」（P.22）をご覧ください。

3 「プロパティ」画面の［OK］を押します。

4 「コレガ無線LANユーティリティ」の「設定」画面に戻りますので、［適用］を押して設定を反映します。

● RADIUS サーバを使う場合

RADIUS サーバを持つ大規模なネットワークでは、お使いのネットワークにあわせた設定が必要です。ご使用の環境によって設定が異なりますので、設定の詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。ここでは「EAP-TLS」を設定する場合の説明をします。

「コレガ無線 LAN ユーティリティ」の「設定」画面に戻りますので、［適用］を押して設定を反映します。

・ユーザ証明は、あらかじめダウンロードするなどして入手しておく必要があります。
・弊社では Windows 2000 Server インターネット認証サービス（IAS）で動作を確認しております。

セキュリティ一覧

本商品で設定できるWEPおよびWPA2、WPAの設定は以下のとおりです。

● WEP…Infrastructure／Ad-Hoc共通

認証方式	暗号方式	WEP暗号強度
Open System	無効	—
	WEP	64Bit－16進数（0～9／a～f）10桁
		64Bit－ASCII（半角英数字記号）5文字
		128Bit－16進数（0～9／a～f）26桁
		128Bit－ASCII（半角英数字記号）13文字
Shared Key	WEP	64Bit－16進数（0～9／a～f）10桁
		64Bit－ASCII（半角英数字記号）5文字
		128Bit－16進数（0～9／a～f）26桁
		128Bit－ASCII（半角英数字記号）13文字

※ Open System…アクセスポイントに認証キーを通信させないで接続します。
※ Shared Key……アクセスポイントに認証キーを通信させて接続します。

● WPA2／WPA…Infrastructureのみ

認証方式	暗号方式	認証設定
WPA－EAP（エンタープライズ）	TKIP	EAP-TLS
		LEAP
		EAP-TTLS
		PEAP
	AES	EAP-TLS
		LEAP
		EAP-TTLS
		PEAP
WPA－PSK（パーソナル）	TKIP	共有キー
	AES	共有キー
WPA2－EAP（エンタープライズ）	TKIP	EAP-TLS
		EAP-TTLS
		PEAP
	AES	EAP-TLS
		EAP-TTLS
		PEAP
WPA2－PSK（パーソナル）	TKIP	共有キー
	AES	共有キー

PART 3

ユーティリティの画面について

本商品のユーティリティを起動するには、画面右下のタスクトレイ（通知領域）にある をダブルクリックします。

「設定」画面

「設定」タブを選択します。

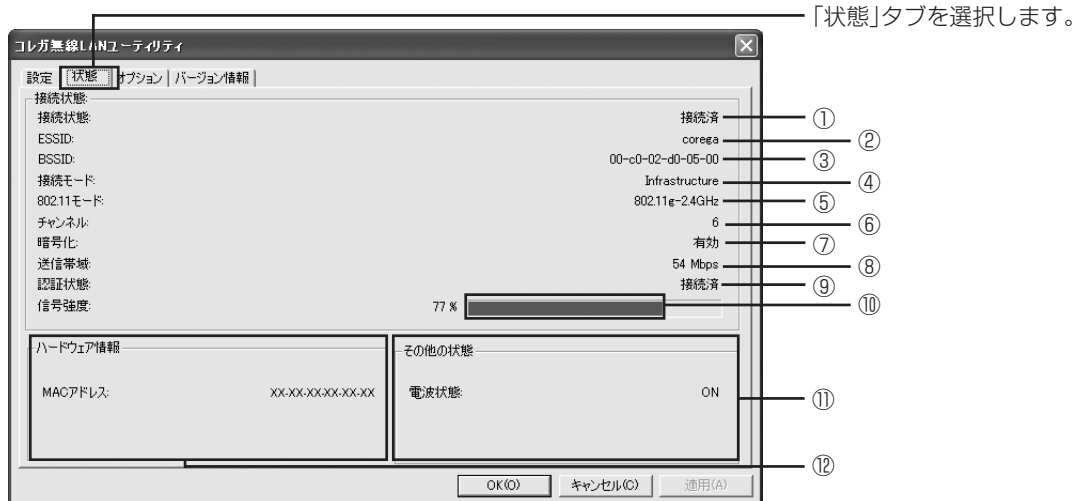
項目名	説明
① AP 検索	利用可能な無線ネットワークのリストが表示されます。
②再検索	ボタンを押すと、利用可能な無線ネットワークの検索を開始します。
③接続	①に表示される無線ネットワークを選択し、ボタンを押すとネットワークに接続します。セキュリティが設定されている場合は、同じ設定をする必要があります。
④設定ファイルの管理	無線接続に関する設定をファイルに保存することができます。保存できるファイルの数はお使いのパソコンによって変わります。
⑤優先するアクセスポイント	①で表示された無線ネットワークをクリックすると表示され、優先的に接続できるようにします。最大で100件の表示をすることができます。
⑥優先順位の移動	⑤に表示されている「優先するアクセスポイント」を選択し、 や をクリックすることによって選択している無線ネットワークの優先順位を変更することができます。 をクリックすると優先順位が上がります。 をクリックすると優先順位が下がります。 ※「Ad-Hoc モード」の無線ネットワークは、「Infrastructure モード」の無線ネットワークより上位に移動させることはできません。
⑦追加	無線ネットワークを新たに設定することができます。

項目名	説明
⑧削除	「優先するアクセスポイント」で表示された無線ネットワークを削除することができます。
⑨プロパティ	「優先するアクセスポイント」で選択した無線ネットワークのセキュリティを設定することができます。
⑩移動	選択した「優先するアクセスポイント」を「設定ファイル」に移動します。
⑪再接続	⑤に表示される無線ネットワークを選択し、ボタンを押すと再度無線ネットワークに接続します。
⑫固定	⑤に表示される無線ネットワークを選択し、ボタンを押すと優先順位に関係なく、選択した無線ネットワークに接続します。

■AP検索表示の各項目

項目名	説明
① ESSID	接続状態と無線ネットワークのESSIDを確認できます。 接続可能な無線ネットワークです。（Ad-Hocモード） 現在接続している無線ネットワークです。（Ad-Hocモード） 接続可能な無線ネットワークです。（Infrastructureモード） 現在接続している無線ネットワークです。（Infrastructureモード） ※通信相手の機器にステルス機能が設定されている場合、ESSIDは表示されません。
② MAC（BSSID）	MACアドレス（BSSID）を確認できます。
③信号強度	通信強度を0～100%の間で確認できます。
④セキュリティ	設定されているセキュリティ設定を確認できます。 セキュリティが設定されている無線ネットワークに付くマークです。 無効 -------------------------- セキュリティ設定が設定されていない無線ネットワークです。 WEP ------------------------ セキュリティ設定でWEPが設定されている無線ネットワークです。 WPA-PSK ---------------- セキュリティ設定でWPA-PSK（パーソナル）が設定されている無線ネットワークです。 WPA-EAP ---------------- セキュリティ設定でWPA-EAP（エンタープライズ）が設定されている無線ネットワークです。 WPA/WPA2-PSK ---- セキュリティ設定でWPA2-PSK（パーソナル）が設定されている無線ネットワークです。 WPA/WPA2-EAP ---- セキュリティ設定でWPA2-EAP（エンタープライズ）が設定されている無線ネットワークです。
⑤ CH	設定されているチャンネルを確認できます。
⑥周波数	無線ネットワークが使用している電波の周波数を確認できます。
⑦ 802.11	802.11モード（通信規格）を確認できます。

「状態」画面

「状態」タブを選択します。

項目名	説明
①接続状態	本商品の接続状態を表示します。
② ESSID	現在設定されている ESSID を表示します。 ※工場出荷時は「corega」が設定されています。
③ BSSID	接続相手機器の MAC アドレスを表示します。
④接続モード	設定されている接続モードを表示します。
⑤ 802.11 モード	現在使用している通信規格を表示します。
⑥チャンネル	現在使用しているチャンネルを表示します。
⑦暗号化	現在設定されているセキュリティの設定を表示します。
⑧送信帯域	現在送信している送信帯域を表示します。
⑨認証状態	通信相手機器との接続状態を表示します。
⑩信号強度	通信相手機器との信号の強度を%で表示します。
⑪電波状態	本商品が通信可能の状態であるかを表示します。
⑫ MAC アドレス	本商品の MAC アドレスが表示されます。

「オプション」画面

「オプション」タブを選択します。

項目名	説明
①一般設定	チェックをつけると各機能が動作します。
②優先ではないESSID(ネットワーク）に自動的に接続	チェックをつけると「設定」画面で検索されたESSID（ネットワーク）を優先順位をつけることなく接続します。
③使用する通信モード	「設定」画面でESSID（ネットワーク）を検索するモードを決定することができます。
④電波を止める	ネットワークの接続を中断したい時にチェックを入れます。
⑤周波数帯域	本商品の無線LANの通信規格を指定できます。ここで無線LANの通信規格を指定した場合、「設定」の画面には指定した規格を使用しているネットワークのみが表示されます。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。
⑥ Ad-Hoc 時の周波数	Ad-Hocでの通信時に使用する周波数を設定することができます。「2.4GHz」、「5GHz」から選択してください。 ※工場出荷時は「2.4GHz」に設定されています。
⑦ Ad-Hoc のチャンネル	Ad-Hocでの通信時に使用するチャンネルを設定することができます。1 ～ 13 チャンネルの中から選択してください。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。
⑧省電力モード	本商品の消費電力を抑えるよう設定できます。「無効」、「最大」、「速度優先」のいずれかから選択してください。 ※工場出荷時は「速度優先」に設定されています。
⑨送信電力	本商品の出力の強さを設定することができます。「100%」、「50%」、「25%」のいずれかから選択してください。 ※工場出荷時は「100%」に設定されています。
⑩ Tx バースト	「有効」に設定するとTxバーストを搭載した機器との通信時に、通信速度を向上させることができます。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。

「バージョン情報」画面

「コレガ無線 LAN ユーティリティ」のバージョンが表示されます。

「バージョン情報」タブを選択します。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

5GHz帯を屋外で使用することは電波法により禁止されています。IEEE802.11aは屋外で使用することはできませんのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2006年5月　初版